

KONAN Research & Education

— 卓越した研究力から滲み出す教育力 —

21世紀は、情報や知識が大きな付加価値を生み出す「知の時代」といわれています。それは知識が資本に代わる価値を有する「知識社会」です。知識社会にあつて知識の価値は、それがもたらす成果によって計られ、成果を生み出すことができる「使える知」が求められます。また知識社会の知識は高度化・専門化されていくことが多いのですが、専門的知識は単独で成果を上げることが難しく、相互に連携したつながりを作り上げることが大切となります。そのため知識は客観的で伝達可能であることが求められています。こうした知識社会の求める「使える知」を生み出していくことが社会のニーズであり、それらを支える人材を育成することが大学に求められています。甲南大学は知識社会に求められる特色ある研究を推進しています。そこで得られた最新の成果が、日々の学生教育にも反映され、教育の質を高めていきます。

先端生命工学研究所 (FIBER)

先端生命工学研究所(FIBER)は、生命分子工学分野において高度かつ先端的研究・教育を実施することを目的とした研究所です。また、産学官の共同研究を推進する連携拠点として、科学技術の推進および地域の総合的発展に寄与することも目的としています。

FIBERでは、設立11年目の節目に当たる2014年度より、第II期研究プロジェクトを始動させました。これに伴い、文部科学省が実施する私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に対し、5年間の研究プロジェクト「核酸の非標準構造を標的とした細胞応答の化学的制御技術の構築と先制核酸医工学への展開」を申請し、採択を受けました。この研究プロジェクトでは、DNAやRNAが形成する非標準的な構造の細胞内での機能を明らかにし、合成分子などの「化学」ツールを用いて、従来の遺伝子工学とは異なる核酸医工学技術への展開を目指します。そのために、国内や国外の研究グループと連携し、様々な研究課題を遂行しています。またFIBERでは、研究プロジェクトによって得られる成果を積極的に発信することを目的に、一般公開の講演会として「FIBER 未来大学(FIBER Future College)」を定期的で開催しています。



ビジネス・イノベーション研究所 (BI 研究所)

BI研究所は21世紀型ビジネスモデルを開発するための社会連携・産学官の研究拠点です。2005年に設立され、「地域経済クラスター創造に向けての社会連携研究」プロジェクトが文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業(社会連携研究推進事業)」に採択されました(2005-09年度)。2006年にはBI研究所と産業界メンバーによる「アライアンス・ベースド技術経営論の研究」プロジェクトが経済産業省「技術経営人材育成プログラム導入促進事業」に採択されています。

2010年には「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」プロジェクトが文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(地域に根差した研究)」に採択されています(2010-12年度)。これからも、マーケティング・サイエンスの新展開、日本型経営/マネジメント・モデルの開発、東アジアビジネスの探究など、ビジネス・イノベーションに関わる研究プロジェクトを推進していきます。



人間科学研究所

文部科学省学術フロンティア推進事業(1998-2007年度。2期連続採択)の成果を引き継ぎ、**現代人の心の危機**の見極めと、その実践的解決のためのネットワーク形成を行うことに取り組んでいます。当研究所の特色は、臨床心理学・医学という臨床実践を担う学問と、人文科学の諸分野にまたがる専門家を擁し、長期にわたって共同研究を進めてきたことにあります。今後の研究活動や調査結果の分析においても、複数の専門領域から多角的に検討し、総合的にとらえ、優れた成果を得ることを目指していきます。



統合ニューロバイオロジー研究所

甲南大学では、研究プロジェクト「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」が2013年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(研究拠点を形成する研究)に採択されました。統合ニューロバイオロジー研究所は、この研究プロジェクトを推進する拠点として、統合生物学の視点から「動物個体が環境の変化に対して応答し順応するしくみ」を理解することを目指しています。生物が環境の変化に対して応答し順応するしくみの理解は、地球環境の変化やヒトの医療・健康につながる重要な課題です。生命科学に関連する多様な分野の研究者の実質的な連携による共同研究を推進し、生物が環境変化に応答し対処するしくみを解明します。また、**理工学部や大学院自然科学研究科と連携し、専門性と広い視野を兼ね備えた人材を育成します。**

総合研究所

甲南大学には、**総合的・学際的研究を指向する学風**があります。総合研究所は、その学風を支える教員たちの強い研究意欲に促されて、1984年5月に発足しました。研究所の目的は、諸科学の既成の枠組みにとらわれず、新しい発想にもとづいて、学部・学科の壁を乗り越えて幅広い共同研究を組織し、その成果を公刊することにあります。21世紀の最大のテーマ「有限規模の地球における人類の持続的な発展」に関する総合的・学際的な研究の場でもあります。

甲南大学大学院

人文科学・社会科学・自然科学の3分野にわたり、4つの研究科(人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科)が開設され、大学院生の教育や研究に取り組んでいます。社会の最先端を担うハイレベルなテーマについて研究しています。

| | 修士課程 | 博士後期課程 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ● 人文科学研究科 | <ul style="list-style-type: none">● 日本語日本文学専攻● 英語英米文学専攻● 応用社会学専攻● 人間科学専攻 | <ul style="list-style-type: none">● 日本語日本文学専攻● 英語英米文学専攻● 応用社会学専攻● 人間科学専攻 |
| ● 自然科学研究科 | <ul style="list-style-type: none">● 物理学専攻● 化学専攻● 生物学専攻● 知能情報学専攻 | <ul style="list-style-type: none">● 物理学専攻● 生命・機能科学専攻● 知能情報学専攻 |
| ● 社会科学研究科 | <ul style="list-style-type: none">● 経済学専攻● 経営学専攻(経営学コース・ビジネスコース)● 会計専門職専攻 | <ul style="list-style-type: none">● 経営学専攻 |
| ◎ フロンティアサイエンス研究科 | ● 生命化学専攻 | ● 生命化学専攻 |

専門職大学院 法科大学院

法科大学院は「ビジネスを支えるローヤー」の育成に取り組んでいます。2006年度以降、103名の司法試験合格者を生み出しています。